

事業名

「リカバリーの学校@くにたち」と共生ネットワークの創設

事業の趣旨・目的

- ・「**キョウドウを生きる暮らし**」を実現するため、しょうがいしゃと市民が地域で共につなげる学びの場（「リカバリーの学校@くにたち（RGK）」）を共創する。
- ・学びのキーワードは、**対話（言語／非言語）**を通じた「**リカバリー**」の学び」と、「キョウドウを生きる」を地域に拡げる**回遊性、越境性、共生圏の拡張**。
- ・事業成果や研究成果を共有し、**教育と福祉の関係者のつながり**を生み、地域の**共生ネットワークづくり**を推進。

事業実施体制・連携先

実行団体：一社・眞山舎 | 連携：国立市公民館、いっしょに歩
連携協議会：12: 学習者、国立市公民館社会教育主事、国立市公民館コーヒーハウス、国立市しょうがいしゃ支援課職員、国立市社会福祉協議会、JT、社会福祉法人多摩棕櫚亭協会常務理事、ソーシャルワーカー、一橋大学大学院教授 | 協力：ダイバーシティサッカー協会、合同会社b[us]

主な対象

/精神/知的/発達/その他（生きづらさがある人等）

活動分野

学習/スポーツ/普及啓発/その他（サークル活動）

事業の取組内容

【講座プログラム】

- ◆リカバリーについて学ぶ連続講座「リカバリーの学校」（全7回）
“言いつばなし”“語りつばなし”を基本とする対話の場に**累計73名**が参加
- ◆連続講座「関係性を耕すゼミ対話と実践をめぐる旅」（全6回）
「関係性」について講義・グループワーク・実践・振り返り等の学びと実践を行き来する場。**累計80名**が参加
- ◆スポーツ講座「ルールを変えられるサッカーであそぼう！～ダイバーシティサッカー体験プログラム～」（3回）
参加するすべての人と楽しむこと（仲間はづれを生まない）ことが趣旨。サッカーのルールを変える、加える等をしながら楽しむことを目指す。**累計33名**が参加。
- ◆「共につくる自己表現と交わりのマナビ場」

学習者が自身がやってみたいことを企画化するプログラム。メンタルヘルスにかかわる3回連続の対話／ワークショップの場には**累計39名**の方が参加。

➡各プログラム間の学習者の**回遊性の高まり**が見受けられ、“初めて当事者の場に来た”という**地域住民**や、埼玉県や栃木県等**東京都外からの参加も**。学習者が**様々な場やコミュニティを行き来すること**による、さらなる**学びの相互作用**を期待。

【連携】

- ◆連携協議会員と協力して「共生社会コンファレンス」の企画・周知・運営・登壇。
- ◆社会教育・市民活動分野と地域福祉・精神保健の分野が具体的に連携するケースがあり、他分野をつなぐ具体的な連携構築の可能性。

➡**関係者の本プロジェクトについての認識が深まっただけでなく、相互の理解・つながりの深まりも！**

活動の様子



その他

「リカバリーの学校@くにたち（RGK）」
活動報告書「変化の地図帳」



「リカバリーの学校@くにたち（RGK）」特設サイト

